

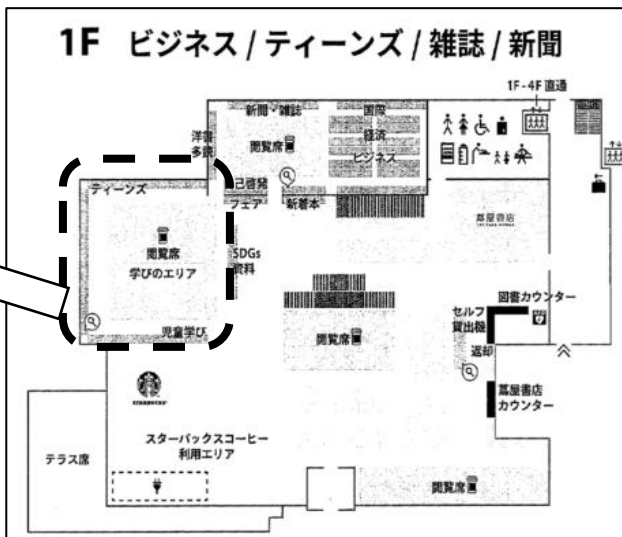
ティーンズ向けフロアの整備と活用

1 活動の概要

1F 学びのエリア



海老名市立中央図書館では、これまで4階のキッズライブラリーで児童書や絵本を中心に、イベントを開催してきた。1階の学びのエリアを整備した理由は、小学校中学年から中高生を対象とした学習資料を取り揃え、ティーンズ世代に図書館を身近に感じてもらうためである。学びのエリアでは学びのイベントだけでなく、トークイベントやワークショップも開催している。



学びのイベント 16:30～17:15

- 月 なりきりラボ 体験デザイナー 編
開催日：11月11日、25日 | 対象：小学生 | 定員：各6名
- 火 えいごの時間
開催日：11月5日、19日 | 対象：小学生 | 定員：各6名
- 水 多読の時間
開催日：11月13日、27日 | 対象：小学生 | 定員：各5名
- 木 社会の時間 平安文化 編
開催日：11月14日、28日 | 対象：小学生 | 定員：各6名
- 金 アートの時間
開催日：11月1日、15日、29日 | 対象：小学生 | 定員：各6名

2 活動の状況、実際

- 学びのイベントでは、隔週で曜日ごとに講座を開催している。(45分) えいごの時間では、小学校低学年の児童が、英語に触れながらロールプレイをして、秋の味覚を買うお客さんと、店員の役を交代して取り組んでいた。子どもの居場所づくりだけでなく、保護者同士の交流の場にもなっていた。
- 対話型アート鑑賞会では、県立高校美術部の生徒さんと連携して、一緒にアートを楽しんだ。
- フロアの活用として、対象の年齢や集まってもらう工夫が、それぞれの活動で見られた。



3 参加者、指導者等の声

- 紹介した本をすぐに借りに来る生徒も多くいて、手ごたえがあったと感じた。
- 今すぐでなくても、人生困った時や悩んだときに、助けとなるような本があることや、地域にある公共図書館でも職員がみんなのことを待っていることを伝えられてよかった。
- 卒業後の生涯読書へつながるように、地域の公共図書館を紹介できてよかった。
- 子どもたちが、人生を数直線にとらえたら、まだまだ始まったばかりで、これからどんな本との出会いがあるのだろう、様々な本を読んでみたいなと思える機会になったと思う。